

(別紙4(2))

事業所名 ふれあいセンター 菟田

目標達成計画書

作成日: 平成 26 年 07 月 17 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	自己 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	2	事業所と地域とのつきあい	法人主催の祭りには地域住民の参加は多いが、ホーム行事への参加者が少ないので、利用者の介護度が低い状態のなかで、積極的な地域活動に取り組んでいく。	職員の中から、地域密着委員を募り、地域住民との交流や、高齢者の介護相談、独居老人の安否確認等、地域福祉の拠点として、地域と信頼関係を築き、地域社会に貢献していくことを検討していく。	12ヶ月
2	3	運営推進会議を活かした取り組み	2ヶ月毎に定期開催をしているが、メンバーの固定化と、会議の内容が少しマンネリ化しているので、会議の内容と、参加委員も知識を吸収し、有意義な会議として参加するのが楽しみになるように、新しい風を送るように検討して行く。	参加委員を有識者や知見者、地域住民から募り、幅広い意見や、要望、情報が外部の目を通して、活発に提案され、ホーム運営に反映し、参加者全員の知識や、意識を向上出来るように取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。